

2022年8月期
第1四半期 決算補足資料

2021年12月27日

ケイティケイ株式会社

代表取締役社長 青山英生

JASDAQスタンダード 証券コード:3035

1	2022年8月期 第1四半期 決算概況	2
2	参考資料	10

1 2022年8月期第1四半期 決算概況

当期第1四半期は低調な滑り出し

- ・ 中期経営計画 “ Growth Plan ” の重点施策にグループ会社を挙げて取り組みを開始
- ・ サプライ事業で、自社製品の**原油高等に関連した原材料費の高騰**の影響があったことに加え、ITソリューション事業では、**半導体不足の影響によりIT関連商品の供給に制約**が出た

	2021年8月期 第1四半期		2022年8月期 第1四半期	収益認識会計基準 影響額 (※)
売上高	4,030百万円	売上高	3,990百万円	▲20百万円
営業利益	128百万円	営業利益	73百万円	▲16百万円
経常利益	144百万円	経常利益	101百万円	▲0百万円

※2022年8月期第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日 以降「収益認識会計基準」という）を適用しているため、当第1四半期に係る各数値については、当該会計基準を適用した後の数値となっております ⇒ 収益認識会計基準のご説明 P14

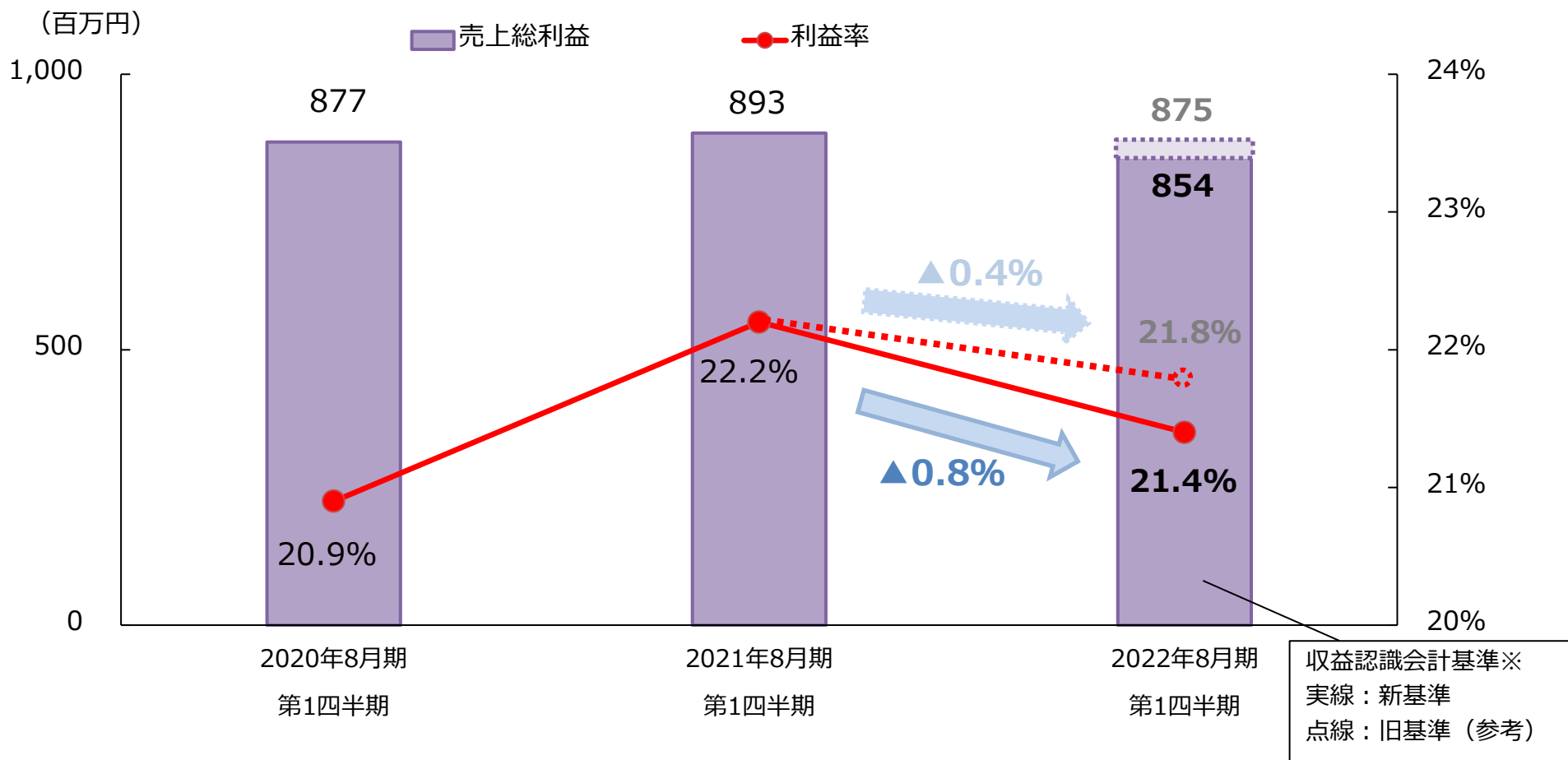
(百万円)

	2021年8月期		2022年8月期			
	第1四半期	通期	第1四半期	前期比	通期 予想	進捗率
売上高	4,030	17,285	3,990	— %	17,310	23.1%
売上総利益	893	3,674	854	— %	—	— %
売上総利益率	22.2%	21.3%	21.4%	— %	— %	— %
営業利益	128	448	73	— %	390	18.7%
経常利益	144	479	101	— %	490	20.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	95	333	64	— %	325	19.7%
1株当たり 四半期純利益	円 銭 17.79	円 銭 62.04	円 銭 12.06	— %	円 銭 60.55	

2022年8月期第1四半期連結会計期間の期首より「収益認識会計基準」を適用しているため当第1四半期に係る各数値については、当該会計基準を適用した後の数値となっております。この結果、前第1四半期連結累計期間と収益の会計処理が異なることから、前期比については記載しておりません。

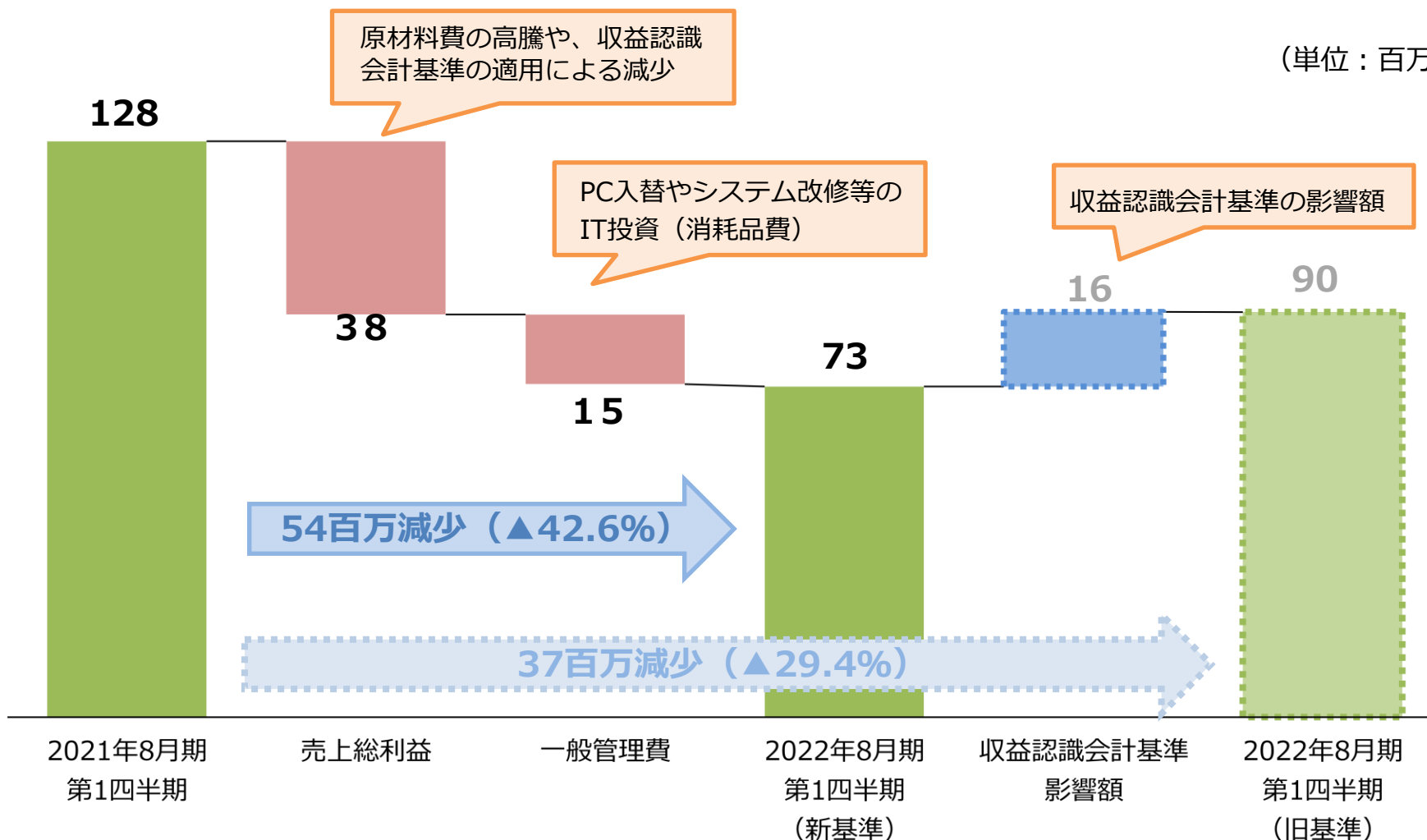
⇒ 収益認識会計基準のご説明 P14

原材料費の高騰等により利益率が低下



※ 2022年8月期第1四半期連結会計期間の期首より収益認識会計基準を適用しております。本頁においては同じ基準で比較するため、当第1四半期の売上総利益、売上総利益率を、旧会計基準で仮に算出した結果を点線で記載しております。
⇒ 収益認識会計基準のご説明 P14

(単位：百万円)



※ 2022年8月期第1四半期連結会計期間の期首より収益認識会計基準を適用しております。本頁においては同じ基準で比較するため、当第1四半期の営業利益を新基準で表示後、旧会計基準で仮に算出した結果を点線で記載しております
⇒ 収益認識会計基準のご説明 P14

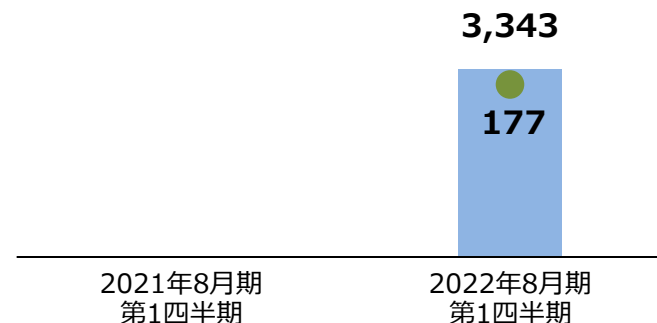
■ サプライ事業

自社で製造するリサイクル商品の拡販、新型コロナウイルス対策の環境・衛生商品の拡販を推進したものの、原油高等に関連した原材料費の高騰が利益を圧迫

(百万円)

	2021年8月期 第1四半期	2022年8月期 第1四半期	増減額
売上高	—	3,343	—
セグメント利益	—	177	—

■ 売上高 ■ セグメント利益 (百万円)



※ 2022年8月期よりセグメントを新設したため、2021年8月期の数値は記載していません
 ※ セグメントに帰属しない全社費用（主に一般管理費、125百万円）は、セグメントに配賦していません

重点施策とその取り組み

- ・ 原材料費の高騰に対しては、生産性の向上等による製造原価削減を継続 同時に販売戦略を検討中
- ・ リサイクル商品、環境・衛生商品をサステナブル商品として提案 SDGsに関心の高い企業による購入が増加
- ・ 営業活動の効率化に向け、科学的アプローチによるデータ分析を開始
PDAを活用した受注の自動化、RPA・AI-OCRを活用した営業事務業務の見直しも継続
- ・ 調達先情報の共有や商品勉強会など、グループ全体での活動を展開

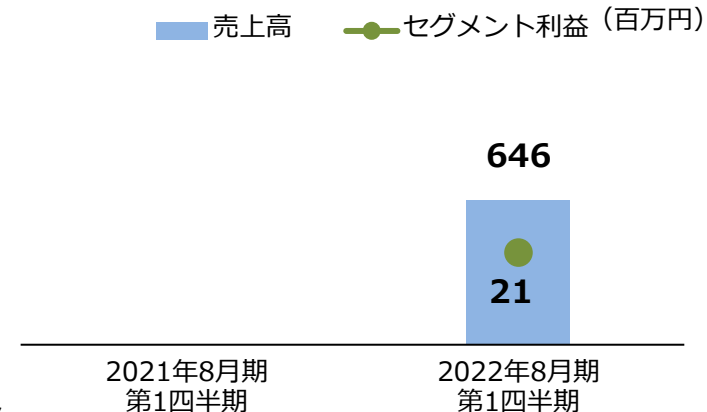
■ ITソリューション事業

SBMソリューション、エス・アンド・エスが中小企業向けの直販で事業をけん引するも、半導体不足の影響によりIT関連商品の供給に制約が生じ、売上の伸びが鈍化

(百万円)

	2021年8月期 第1四半期	2022年8月期 第1四半期	増減額
売上高	—	646	—
セグメント利益	—	21	—

■ 売上高 ● セグメント利益 (百万円)



※ 2022年8月期よりセグメントを新設したため、2021年8月期の数値は記載していません
 ※ セグメントに帰属しない全社費用（主に一般管理費、125百万円）は、セグメントに配賦していません

重点施策とその取り組み

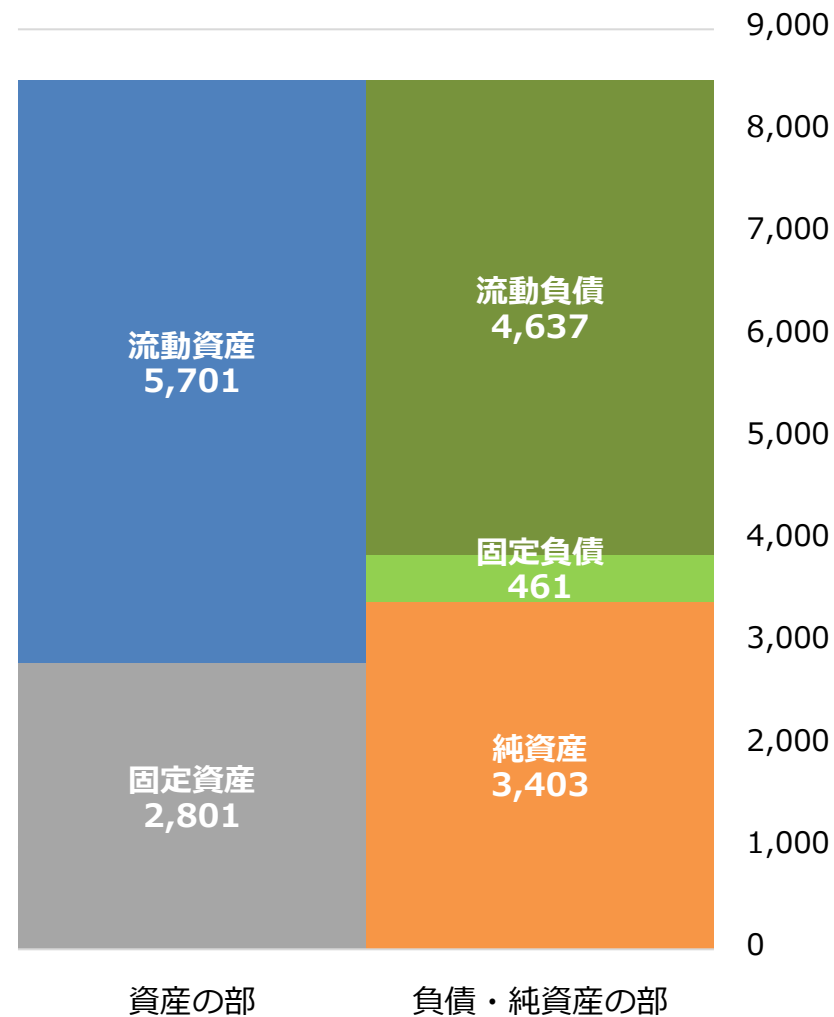
- ・ 供給の制約に対しては、仕入先と調整を続けると共に、代替商品の検討、提案も進めることで機会損失を防止
- ・ ケイティケイ内にITソリューション事業部を設立、グループ横断の「ITソリューション戦略会議」を立上げ、勉強会・情報共有（同行営業）等の活動を開始
- ・ 自社で利用するAI-OCRをはじめ、顧客のDXに資するソフトウェア等の販売を強化
- ・ オフィス家具も含め、オフィス環境のあり方を提案する営業活動を推進

■ 貸借対照表

(単位：百万円)


	2021年8月期	2022年8月期 第1四半期	増減額
流動資産	5,664	5,701	37
現金及び預金	2,648	2,364	▲283
受取手形及び売掛金	2,444	2,712	268
商品・その他の資産	572	625	52
固定資産	2,782	2,801	17
有形固定資産	1,671	1,656	▲14
無形固定資産	96	103	6
投資その他の資産	1,013	1,041	25
資産合計	8,446	8,503	54
負債合計	5,041	5,099	51
流動負債	4,566	4,637	64
固定負債	474	461	▲12
純資産合計	3,405	3,403	3
負債純資産合計	8,446	8,503	54
自己資本比率	40.3%	40.0%	▲0.3 pt

(単位：百万円)



2

參考資料

商号	ケイティケイ株式会社 (ktk INC.)	
設立	1971年6月29日	
資本金	2億9,467万円	
代表取締役	青山 英生	
従業員数	182名	
拠点	営業拠点 20拠点 / 生産拠点 2拠点 物流拠点 2拠点	
事業内容	リサイクルトナー等のプリンター消耗品の製造・販売 OA機器に使用する消耗品、文具事務用品等の販売 インターネット等の通信販売を利用した商品等の販売 DX推進のITソリューション商品の販売	

■ 自社生産のリサイクル商品

主力のリサイクルトナーは、品質管理を徹底した長野県駒ヶ根市の自社工場で生産



■ WEB発注システム

【企業向け】

約40,000点のアイテムを取り揃えた独自のWEB発注システム
お客様専用カスタマイズも可能



約600,000点の豊富な商品を掲載する、ITソリューション専門のBtoB通販サイト



【個人・SOHO向け】

コンビニ決済、カード決済にも対応した、リサイクル商品のBtoC通販サイト

Repack ★ store

■ 拠点情報

【生産拠点】 ●
駒ヶ根工場・春日井工場
【物流拠点】 ●
駒ヶ根物流・小牧物流

【営業拠点】 ●

<関西地方>

大阪支店・京都営業所

<中国・四国・九州地方>

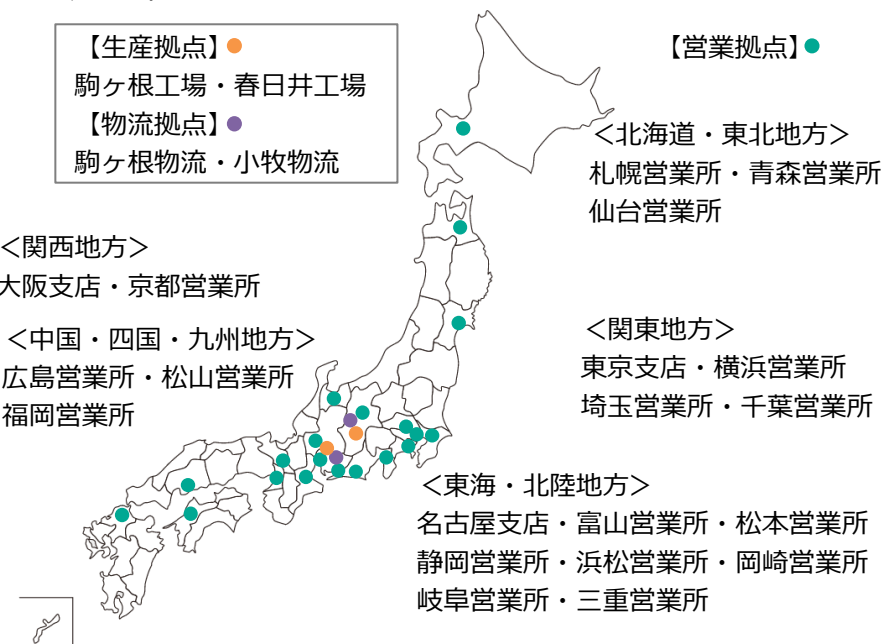
広島営業所・松山営業所
福岡営業所

<関東地方>

東京支店・横浜営業所
埼玉営業所・千葉営業所

<東海・北陸地方>

名古屋支店・富山営業所・松本営業所
静岡営業所・浜松営業所・岡崎営業所
岐阜営業所・三重営業所



株式会社青雲クラウン



拠 点	営業拠点 5拠点 (名古屋/岐阜/津/豊橋/長野) ●
事 業 内 容	文具卸売/オフィス環境/店舗開発
従 業 員 数	74名

オフィス用品の総合商社として、調達から物流までのサプライチェーンを構築しオフィス環境を総合的にサポート
店舗開発事業として文具専門店のプロデュースも実施

SBMソリューション株式会社



拠 点	営業拠点 2拠点 (名古屋/岐阜) ●
事 業 内 容	OA機器販売/ITソリューション
従 業 員 数	29名

最適なドキュメントソリューションの提案をはじめ、PCやセキュリティ機器等の情報通信システム・ネットワークの構築、運用、保守サポートを提供

株式会社エス・アンド・エス



拠 点	営業拠点 1拠点 (瀬戸) ●
事 業 内 容	OA機器販売/ITソリューション
従 業 員 数	8名

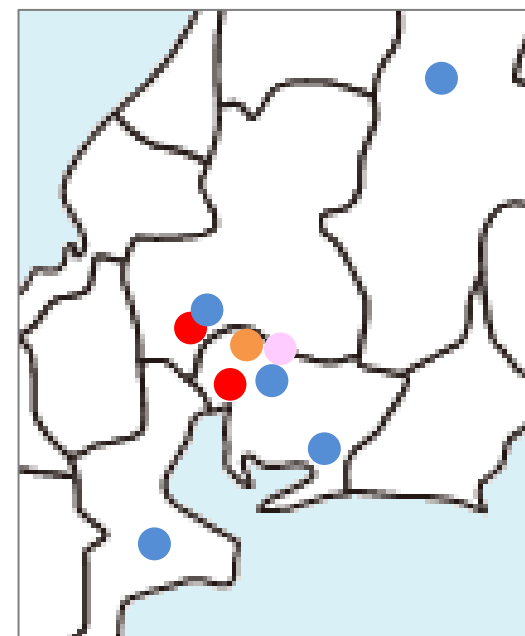
愛知県瀬戸市を中心に、複合機をはじめとしたドキュメントソリューション、PCやセキュリティ機器等、オフィスに必要なIT機器を提供

株式会社キタブツ中部



拠 点	物流拠点 1拠点 (小牧) ●
事 業 内 容	ロジスティック事業/倉庫業
従 業 員 数	5名

物流を一元管理することで、コスト削減や効率化を実現しお客様のニーズに対応
オフィス用品を中心に33,000アイテムを常時管理保管



■ 経営理念

“お客様の発展をトータルでサポートし、お客様にお喜びいただき、社会に貢献する”

■ 長期ビジョン

Change the office mirai



社会を変える

リユースリサイクルが当たり前のミライを目指し、SDGs・循環型社会に貢献します

お客様のオフィスを変える

お客様にDXソリューションを提供し、中長期的な信頼関係を築きながら、お客様のミライを変えていきます

自分たちが変わる

社員が価値を発揮できるよう、人材投資を継続的に行い、自分たちのミライを変えていきます

■ サステナビリティ基本方針

「ケイティケイは、事業活動と経営戦略の中心にSDGsの理念を据えて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります」

環境貢献

- ・ リユース・リサイクル
再生可能エネルギーの利用
CO2削減
ゼロエミッションの実現
- ・ 顧客のSDGs支援
- ・ 新しい生活様式の提案

DX

- ・ 中小企業のDX支援
- ・ 自社の生産性向上と顧客への付加価値提供
- ・ DX分野の他企業との協業

人材育成 ダイバーシティ

- ・ 成長に向けたリスクリング
- ・ 経営人材の育成
- ・ 女性活躍促進
- ・ ワークライフバランス
- ・ 障がい者雇用

経営基盤強化

- ・ 成長を支える組織づくり
- ・ 健全な財務体質の維持
- ・ 新市場、CGコードを見据えたガバナンス体制の強化

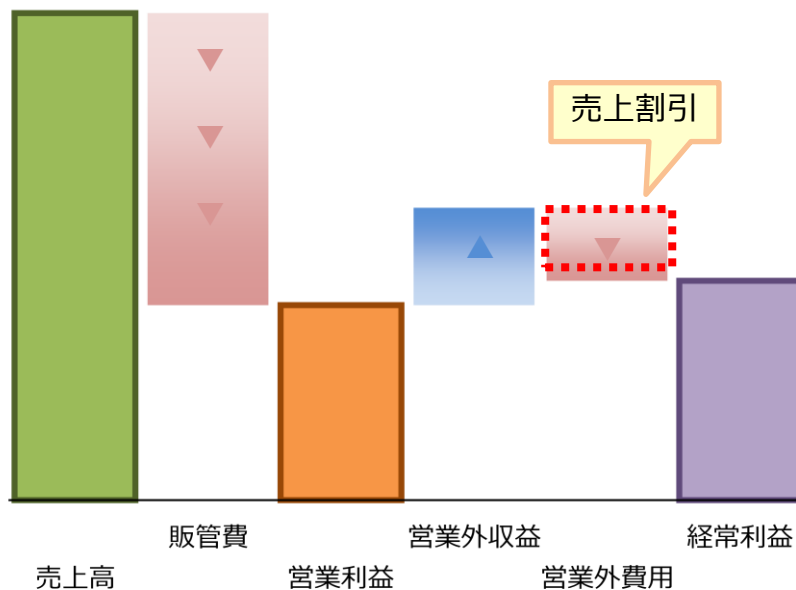


2022年8月期より企業会計基準第29号「収益認識に関する会計基準」が適用
売上割引を伴う一部取引について売上高の計上方法を変更

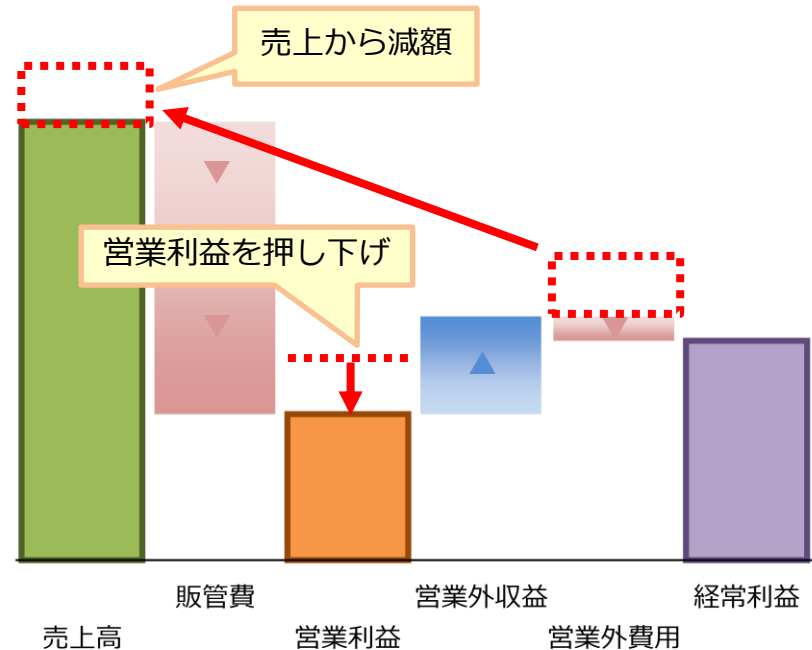
【売上割引】

主に連結子会社における顧客との一部契約で、一定期間の取引額に対して行う売上割引のこと
従来会計基準においては、営業外費用として処理していたが、新会計基準では、売上高より減額
する処理に変更

<旧基準>



<新基準>



発表日	リリース内容
2021/8/27	中部経済新聞「あいち女性輝きかパノ-推進企業特集」にて当社を紹介しています
2021/8/30	当社社員の新型コロナウイルス感染判明について
2021/9/7	新市場区分「スタグ-ト`市場」の選択申請に関するお知らせ
2021/9/13	「サステナビリティ基本方針」策定とサステナビリティ重要課題(マテリアリティ)特定についてのお知らせ
2021/9/27	通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ
2021/10/1	役員退職慰労金制度の廃止及び譲渡制限付株式報酬制度の導入に関するお知らせ
	中期経営計画“Growth Plan”（2022年8月期～2024年8月期）発表
	剰余金の配当に関するお知らせ
2021/10/6	AI-OCR「DX Suite」の導入による業務効率化を推進 さらに、販売パートナーとして「DX Suite」の取扱いを開始
2021/10/19	東海ラジオ『らじおガモン倶楽部』にて当社が紹介されます
2021/11/1	ラジオNIKKEI『この企業に注目！相場の福の神』にて当社が紹介されました
2021/11/2	2021年8月期 決算短信の一部訂正のお知らせ
2021/11/4	セグメント変更に関するお知らせ

本資料に関するご注意

本資料には、ケイティケイ株式会社の将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信に基づく見込みです。

また、多様なリスクや不確実性（経済動向、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これらに限られません）を含んでいます。そのため、当社は将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なる可能性がありますので、ご承知おき下さい。この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。

本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先

お問い合わせ先	ケイティケイ株式会社 経営企画部経営企画課
所在地	愛知県名古屋市東区泉 2 - 3 - 3
電話	052-934-2266
メールアドレス	ir@ktk.gr.jp
HP	https://www.ktk.gr.jp

